

## 小平町の安田農場におじゃましました

今回は、JA南るもい花き生産組合から、昨年4月の中原組合長（留萌市）、11月の丸瀬さん（留萌市）に続き三人目の登場、安田さん（小平町）をご紹介します。

### 【JA南るもい花き生産組合の概要】

平成2年に研究会として発足し、平成5年から生産組合として活動している「JA南るもい花き生産組合」は、現在、留萌市と小平町のプロデューサー14戸で構成されています。主力品目はトルコギキョウ、スターチス。小規模な生産組合ではありますが、夏の冷涼な気候、丁寧な生産技術によって生産される、花持ちがよく規格のそろった高品質な南るもい産の花きは、道内外の市場から非常に高い評価を得ています。毎年組合で開催している立毛コンテストや、各戸の土壌調査など、日々の努力により、高い生産技術と高品質な花き生産が保たれています。

### 【安田さんの花き生産】

今回おじゃました安田さんの農場は、小平町の住吉地区に位置しています。水稲、肉牛と花きの複合経営で、花き生産は奥さまの幸恵さんが切り盛りされています。ハウス4棟（約10a）でトルコギキョウ、スターチスを中心に生産されています。花き生産をはじめたのは、もう20年以上も前。農協からの勧めがきっかけとなり、近郊のプロデューサーの花がきれいだったことから花に魅力を感じて、はじめることに決めたとのこと。

花き生産のご苦労はどんなことですか？と伺うと、「手をかけた花が天候の影響などでうまく仕上がらなかったときが、本当にくやしいの。ショックで仕事をしたくなくなるくらい！」と。「でも、ひとに贈っても喜ばれるし、きれいだし、花が好きだから続けている」と笑顔が語っていただきました。「反省したことは必ず翌年に生かす」優しく明るいお人柄の中に、花への深い情熱が感じられました。



収穫間近のトルコギキョウ



出荷を待つトルコギキョウ

### 【今年の生産は？】

今年の夏、南るもい地域は暑い上に例年になく小雨となり、干ばつの期間が長かったため、たくさんの水を必要とするトルコギキョウの生産には非常に気がつかったとのこと。また、ハチの大量発生に見舞われ、受精による花持ち低下を防ぐため、ネットを張るなど対策に追われ、大変な夏になったそうです。

そんなご苦労が多かった今年ですが、適切な対応のおかげで花はよい出来となり、競りで一番はじめに取引されるほど高い需要を誇っています。

食味の良い低タンパク米やパスタ小麦ルルロツソで有名な南るもい地域ですが、ぜひ南るもい産の花きにも注目してみてくださいね。

### 【取材を終えて】

9月のお彼岸向けの収穫・出荷でお忙しい時期にお邪魔したにもかかわらず、安田さんには快く取材に応じていただき、ありがとうございました。南るもい農協の花担当の安田さん、留萌農業改良普及センター南留萌支所の吉岡専普には、取材に立ち会っていただき、ご協力いただきました。ありがとうございました。



安田さん



奥から、生産者安田さん、  
普及センター吉岡専普、農協安田さん

(平成25年9月取材 留萌振興局農務課)